

会議・協議等記録簿

会議名	令和2年度 第4回佐久市社会教育委員会会議		
日時	令和3年2月15日(月) 午後1時30分～午後2時10分	場所	市役所南棟3階 大会議室
出席者	社会教育委員8名(中澤功委員長、柳澤優子副委員長、柳澤博委員、井出眞一委員、畠山文雄委員、奥村繁子委員、依田元子委員、依田とく代委員)		
	事務局6名(生涯学習課長、生涯学習係長、生涯学習係、社会教育指導員3名)		

令和2年度第4回佐久市社会教育委員会会議

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 事務局からの報告事項及び今後の予定について

○「生涯学習及び公民館に関するアンケート」結果の報告について
事務局より概要報告を行った

○社会教育委員日より「そよかぜ第5号」の発行予定と原稿依頼について

委員：無理のない範囲で続ける事が大事、それがいずれは定着すると思う。

副委員長：「そよかぜ第4号」までで、何か意見、反応等があったか。

事務局：佐久地区の社会教育委員担当者会議で「そよかぜ」を配布したところ、他市町村の職員から、社会教育委員の見える化が素晴らしいとの反応があった。

委員長：佐久地区の会議で配らせていただいたが、他市町村の社会教育委員から「どのような施設に置いているのか」などの質問があり、興味を持って見ていただいた。

○人権同和課「学校人権教育実施状況調査」結果報告について
事務局より概要報告を行った

○地域づくり推進研修「災害復興と公民館 ～復興現場から、公民館の原点を考える～」の受講について

委員：県生涯学習推進センターの他の講座で中止になってしまったものがあったが、オンラインでの開催を検討して欲しかった。

副委員長：今後このような講座等があった場合、会場を用意しオンラインでの受講を考えてもらえるか。

事務局：まずは主催者側がオンライン開催を行わないとできないが、コロナ禍に関わらず検討して欲しいとの意見が出たことは県生涯学習推進センターに伝えたい。

委員：公民館も一緒に受講するのか。

事務局：今のところ創錬センターでオンライン受講するのは生涯学習課職員だけだが、自宅で受講する職員もいると聞いている。複数人で受講するために、配信をスクリーンに投影して受講することを考えた。当日創錬センターに来て頂ければ受講可能である。

○生涯学習懇話会と社会教育委員会議の今後の方向性について

委員：生涯学習懇話会で主管していた生涯学習に関するアンケートについてだがアンケート結果はいつまでにまとめ、いつまでに公表するなどの期限はあるか。

事務局：年2回の会議で、初夏にアンケート立案、冬にアンケート結果の分析と所管課への提案報告を行ってきたので今後もそのような方向性でいきたい。

委員長：そのようなアンケート等に関することを、社会教育委員会議で引き継いでいくという認識でよいのか、またアンケートという形式はとらないといけないのか。

事務局：アンケートという形にこだわるわけではない。今まではアンケートという形をとっていたが、対面で意見を聞くやり方もあるかもしれない。いずれにしても、市民からひろく意見を聞くということは必要なので、その時々アイデアで良いと考えている。

副委員長：懇話会に老人会の関係者はいるか。また、文化系関係の委員はどこからの選出か。

事務局：老人会の関係者は入っていない。文化系関係は例えば佐久市文化振興推進企画委員会などを考えている。

副委員長：様々な分野の方の意見を聞きたいので、高齢者に入ってもらえるものではないかと考える。

事務局：委員になっていただくのが良いか、アンケート等で意見を反映してもらった方が良いのか検討したい。

副委員長：今回のアンケートを見ると高齢者が極めて少ない。そこからの意見が取り上げられないのではないかと。

事務局：今回はインターネットを使ったアンケートなので高齢者の回答は少なかったが、以前行っていたアンケートでは、ほとんどが高齢者からの回答であり、それでは若い人の意見が反映されていないのではないかとこの考えから

今回のアンケート方式に至ったものである。

○教育委員会だより「with コロナ～継続～」(令和3年1月発行)の配布について

事務局：教育委員が交代で執筆しホームページに掲載しているもの。コロナ禍での教育について書かれているのでお読みいただきたい。

(2) その他

○学校教育課所管「佐久市奨学資金選考委員会」委員選出について
柳澤優子委員に引き続き務めていただくことで了承を得る。

4 閉 会